

研究名：小児頭蓋咽頭種に対する開頭摘出術に関する観察研究

1. 研究の目的

頭蓋咽頭種は小児脳腫瘍の1-3%を占め、WHO Grade Iに分類されますが再発率は比較的高いです。鞍上部に首座を置き下垂体茎・視路・視床下部近傍に発生することより、合併症として内分泌障害、視力・視野障害、視床下部障害を来し得ます。手術的摘出は根治を達成するうえで最も重要な治療法です。本研究は、頭蓋咽頭種に対する開頭摘出術の有効性に関し、検討することを目的とします。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターに2011年1月1日～2024年12月31日に脳神経外科で頭蓋咽頭種に対する開頭摘出術を受けられた方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年3月31日
- ③ 研究方法：電子カルテの検査結果を参照し、頭蓋咽頭種に対する開頭摘出術を行い、全摘出を達成した群とそうでない群で転帰の違いを検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、MRI、CT、手術記録、病理診断、転帰、等
情報の利用開始日は25年6月1日です。

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報
は調査対象ではなく、
個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表等の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年7月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 脳神経外科 荻原英樹

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7105）

○研究責任者：国立成育医療研究センター 脳神経外科 荻原英樹